



# Health Sciences Leadership Program

## 履修要項

### **Associate Membership**

改訂年月日：2020年1月29日

東京医科歯科大学

## 目次

背景と趣旨.....	1
対象者.....	1
募集、応募、選考.....	1
カリキュラム.....	2
科目履修方法、科目履修取消、科目成績、プログラム履修継続、 授業時間、講義室.....	6
HSLP メンバーステータス変更.....	7

---

## 背景と趣旨

HSLP 修了のためには、規定科目の履修のために大きな労力および時間的拘束が必要とされる。その結果、医学・医療におけるグローバルなキャリアに興味があっても、専門課程学習との両立実現可能性に対する不安のため、応募せず、貴重な人材育成機会を逃す学生が少なくない。また、要求される高い英語力のために、明確なキャリアビジョンと情熱があっても、full member 選考時期までに英語力アップが間に合わず選考から漏れる学生もいる。そこで、full member の履修を妨げない範囲で、それら学生に対して HSLP における一部学習機会を与え、彼らのキャリアビジョン実現を支援すべく、HSLP Associate Membership を 2016 年度に設けるに至った。

なお、履修生身分の名称を以下のように整理する。

英語表記	HSLP full member	HSLP associate member
日本語表記	HSLP メンバー	HSLP アソシエイツ

## 対象者

HSLP の設立理念と育成目標、および HSLP Associate Membership の設立背景に鑑みて、本学学士課程学生のうち、下記に該当する者を求める。

- ・ヘルスサイエンス領域における将来のグローバルリーダーをキャリアビジョンに抱き、ビジョン実現に対して意欲・熱意を有し、強いコミットメントを示す
- ・HSLP Associate Membership を十分理解している
- ・入学後の修学態度が良好である
- ・HSLP が掲げる育成目標達成の観点、および HSLP 履修および正規科目履修に支障を来さないという観点から必要とされる一定レベル以上の英語運用力を有する

## 募集、応募、選考

- 募集
  - ◇ 第1学年学生については秋および春に、full member 募集と同時に associate member 募集を行う（①full member のみ、②両方（full member に選ばれなかった場合に associate member 登録を希望するか否かの意思表示欄を設ける）、または③associate member のみ、の3種類のどれかへの応募となる）。
  - ◇ 第2学年進級以降の応募については随時受け付ける。
  - ◇ HSLP full member で、進級時継続履修要件である GPA 基準などに抵触し継続できなくなった学生は、本人が希望する場合、HSLP 修学態度などに特に問題がない限り、associate member とする（この場合は以下の応募手続きの必要なし）。
- 応募（以下を提出する）
  - ◇ 将来のキャリアビジョンとその実現に本 member 登録がどのような意義を持

つのかについての考えなどを記載（英語または日本語）（規定様式に従うこと）

- 選考
  - ◇ 選考は以下にもとづき行う。場合によっては面接も行う場合もある（英語および日本語）。
    - エッセイ
    - 本学統合国際機構の企画する Discussion Café や”Find-Your-Role-Model” Sessions への積極的な参加の程度
    - 修学態度に関する情報

## カリキュラム

- 以下に、HSLP full member 用カリキュラムとの相違点を記す。
  - HSLP full member を対象とした科目の一部を履修（associate member 受講可否および受講に際しての条件などをシラバスに明示）できる。
    - ◇ 受講登録における優先順位は、HSLP full member > associate member である。
    - ◇ 科目により、associate member の履修条件に英語基準や必須事前履修科目を設ける場合がある（それら情報はシラバスに明示する）。
    - ◇ 科目ごとに associate member の受講可能学生数に上限を設定する。上限を超える学生が受講希望表明をした場合には科目責任者の判断で受講許可者を決定する。科目責任者はできる限り公平な方法で決定する。
    - ◇ 受講許可が下りた場合、学生は HSLP 規定に従い履修登録を行う。履修取消についても同規定に従って行う。
    - ◇ 科目の履修においては、full member と同じ到達目標のもと、同じ学習を行い、同じ基準で成績評価が行われる。履修登録された科目の成績は、本学学部専門科目履修規則に準じて付与され、成績証明書に記載される。なお、HSLP で履修する科目は本学「自由科目」として扱われるため、GPA 算出には含まれない。
  - HSLP 履修生を対象とした Workshop（Critical Thinking bootcamp, Design Thinking bootcamp, Critical Reading bootcamp など）への参加資格について
    - ◇ 参加者登録における優先順位は、HSLP full member > associate member である。
    - ◇ 参加に際して英語基準を設ける場合がある。
  - 定期的に、HSLP full member と associate member の交流のためのイベントを実施する。
  - 他に、HSLP 履修生を対象として企画されるイベントなどへの参加資格について
    - ◇ 参加者登録における優先順位は、HSLP full member > associate member である。
    - ◇ 参加に際して英語基準を設ける場合がある。
  - HSLP full member を対象とした修了要件”Tutoring”は associate member は対象としない。
  - Associate member が受講可能なすべての科目を受講し単位を得たとしても、HSLP 修了証は発行されない。
  - HSLP full member には教員がメンターとしてつくが、associate member にはメンターはつかない。また、full member は、同一教員をメンターとする学年を超えた組織（society）を構成するが、associate member はその構成員には含まれない。

- HSLP 履修生を対象として定期的開催される Retreat には、associate member は参加しない。
- Discussion Café のタスクフォースや Find-Your-Role-Model Sessions の学生ホストにはエントリーできない。

以下に、HSLP における必須履修科目の履修時期および履修に際しての必須要件を記す。associate member はこのうちの一部科目を履修することができる。科目の概略を次頁に記す。

科目名	2020 年度 開講時期	時間*	曜日*	回数	必須要件*2	associate member による履修
Health in Contemporary Japanese Society (CJS)	前期	18:00~19:20	水	12	・ IMA の修了 (推奨) ・ BRT の修了 (推奨)	可
Introduction to Medical Anthropology (IMA)*2	前期	18:00~19:20	木	12	特になし	可
Applied Critical Thinking for Health Sciences (ACT)	後期	17:00~18:20	火	12	Critical Thinking bootcamp の受講	可
Moral and Political Philosophy for Medicine (MPP)	後期	18:30~20:10	火	12	特になし	可
Biosocial Research Topics (BRT)	後期	18:00~19:20	木	12	特になし	可
TBA	後期	19:30~20:50	木	12		可
Decision-making in the Health Sciences (DHS)	前期	19:30~20:50	水	12	・ ACT の修了 ・ BRT の修了	不可
Problem-solving in the Health Sciences (PHS)	後期	17:00~19:00	水	12	・ MPP の修了または同時期履修 ・ ACT の修了	不可

\*1 学科/専攻における時間割状況にもとづき臨時で変更する場合がある。また、学科/専攻の必須/選択科目履修のため参加できない授業分については補講を行う。

\*2 いずれの科目も **TOEFL iBT 70 点相当を履修要件とする。70 点に満たない学生は科目を履修できないわけでは必ずしもないが、科目責任者との面談等において同レベルの英語力を有すると判断されなければならない。**

\*3 Applied Critical Thinking for Health Sciences (ACT)については、保健衛生学科/口腔保健学科の学生は必修科目と時間が重なるため、短期集中講座を開講予定。詳細については、後日通知する。

科目	授業責任者	講義等の内容
Health in Contemporary Japanese Society (CJS) (1 単位)	Rebecca Carlson	This class builds on previous HSLP course work, where students were introduced to the distal causes of health inequalities and provides essential analytical methods to help students continue to grow their biosocial toolkit. We will do this through an exploration of the way Japan's governance structures, health and social policymaking, and broad social ideologies act as constraints on individual health behavior, with specific attention to pressing contemporary health problems in Japan today such as end of life care for cancer patients and the rise of diabetes. This course also places emphasis on the development of advanced communication and team building skills, such as how to lead and organize a discussion and how to construct arguments for research papers and presentations.
Introduction to Medical Anthropology (IMA) (1 単位)	Rebecca Carlson	From intimate perceptions of "quality of life," to the geo-politics of infectious disease epidemics, medicine is only ever practiced and received through culture. As contributors to a global health care community, young medical practitioners benefit from an understanding of modern health as a fundamentally biosocial domain positioned at the intersection of the health sciences and cultural values and ideas regarding sickness, the body, and life itself. This course serves as an introduction to Global Health topics, focusing on contemporary real world health issues from a biosocial perspective. Students will analyze specific case studies to consider the way local social elements shape individual experiences of illness and the way bias may limit the ability for medical professionals to appropriately address contemporary health problems. These problem-based studies will allow students to improve their critical thinking, develop their teambuilding and information literacy skills and grow their intercultural knowledge.
Applied Critical Thinking for Health Sciences (ACT) (1 単位)	關 奈央子	Applied Critical Thinking for Health Sciences will allow students to practice logical structure; a core competency as a healthcare professional. Health-science-related topics provide opportunities for students to discuss, critique, build a logical argument, and construct teamwork with critical thinking skills. Students will have chances to make presentations and receive peer feedback to improve and acquire the skills necessary for problem solving.
Moral and Political Philosophy for Medicine (MPP) (1 単位)	高田和生	This course will examine ethical, economical, and political, as well as scientific aspects, of some important health policy issues currently facing the world. This course will thus cover, through the examination of those issues, relevant areas of philosophical theories, economics, including political and historical analyses to allow learners to understand background issues, history, and constraints, so as to be able to make a positive contribution to current debates. Throughout the course, learners will have ample opportunities to exercise and sophisticate many of the skills listed in the program's graduation competencies, such as critical thinking skills, inquiry and analysis, information literacy, communication skills, leadership skills, and teamwork.
TBA (1 単位)	岡田卓也	TBA
Biosocial Research Topics (BRT) (1 単位)	Rebecca Carlson	Building on the biosocial toolkit introduced in IMA, students will begin to explore the distal causes of global health issues, focusing in particular on how history, power and social inequality contribute to ongoing health disparities around the world. Topics such as the 2014 Ebola outbreak in West Africa and the global HIV epidemic will be explored with a focus on uncovering and analyzing the relevant structural factors. Students will complete a semester long group research project on a selected topic, improving their critical thinking, communication, information literacy and inquiry and analysis skills.

## 科目履修方法、科目履修取消、科目成績、プログラム履修継続、授業時間、講義室

### 1. 履修方法

履修登録は、所定の期間内に登録の手続きを行わなければならない。履修登録の受付は統合国際機構グローバル化推進係にて行う。

### 2. 履修取消

履修取消とは、一旦履修登録した科目を一定期間（各科目の第3回目授業が開始されるまでとする）に本人からの請求により、履修を取り消すことをいう。履修取消を行った科目に関しては、成績証明書に記載されない。履修取消の手続きは、所定の様式によりグローバル化推進係に提出する。なお、期間内に履修取消の手続きを行わず、自ら履修を放棄した場合は「F」評価とする。

### 3. 成績

履修科目の成績は、本学学部専門科目履修規則に準じて付与される。各科目の責任者が成績評価を行った後、所属学部長の承認を経て確定する。履修登録された科目の成績は、本学学部専門科目履修規則に準じて付与され、成績証明書に記載される。

### 4. プログラム履修継続

HSLP 科目履修態度に問題がある場合には、統合国際機構の判断で履修継続を承認しない場合がある。

科目履修態度の問題例

HSLP 科目に限る学業成績不振（D 判定を 2 回取る）

就学態度不良（無断欠席、授業中指示に従わない、面談等事務連絡無視等） など

## 5. 授業時間

	開講時期	曜日*	授業時間*
Health in Contemporary Japanese Society	前期	水	18:00～19:20
Introduction to Medical Anthropology	前期	木	18:00～19:20
Applied Critical Thinking for Health Sciences	後期	火	17:00～18:20
Moral and Political Philosophy for Medicine	後期	火	18:30～20:10
Biosocial Research Topics	後期	木	18:00～19:20
TBA	後期	木	19:30～20:50

\*学科/専攻における時間割状況にもとづき臨時で変更する場合があります。また、学科/専攻の必須/選択科目履修のため参加できない授業分については補講を行う。

## 6. 講義室

授業はM&Dタワー8階の「G-Lab」にて行われるので、場所を把握しておくこと。また、HSLP履修生用ラウンジを利用することができる。なお、G-Labおよびラウンジ等に個人の所有物などを放置しないように注意し、ルールに従うこと。

## HSLP メンバーステータス変更

1. Associate Membership から Full Membership へのステータス変更

Full Membership へのメンバーステータス変更のための要件は以下の通りである。募集・選考は、第1学年学生を対象とした秋および春の募集・選考と同時に行う。

- Full Membership 応募者、および Associate Membership から Full Membership へのステータス変更応募者共通の選考要件・項目：
  - 第1次選考（書類選考）
    - エッセイ
    - 英語力（TOEFL iBT 70 点以上を基準）
    - 本学統合国際機構の企画する Discussion Café や”Find-Your-Role-Model” Sessions への積極的な参加の程度
    - 本学必須/選択英語科目（語学科目）および英語関連科目（英語で学ぶ科目）への積極的な取組の程度（科目責任者に照会）
  - 第2次選考（グループ面接）
    - 協調性、社交性、英語力、コミュニケーションスキルなど
  - 第3次選考（個人面接）
    - 本プログラムのコンピテンシー習得の重要性の理解、人物像、グローバルリーダーへのキャリア構築についての意欲/熱意など



- Associate Membership から Full Membership へのステータス変更応募者のみを対象とした追加要件・項目：
  - 入学から変更申請時までの通算 GPA について、学年内席次が原則上位 2/3 以内であること（第 2 学年次 11 月末までのステータス変更希望者に対してのみ適用）
  - アソシエイツとして受講した科目内容からみて同程度の学習段階であるフルメンバーの平均的な批判的思考力、創造的思考力、コミュニケーションスキル、リーダーシップスキル、マネジメントスキルを備えていること

## 2. Full Membership から Associate Membership への変更後の、Full Membership への再変更（復帰）

フルメンバー履修継続要件を満たさず Associate Membership へとメンバーステータスに変更となった学生において、Full Membership への復帰のための要件は以下の通りである。ただし、Full Membership への復帰申請可能時期は、最短で Associate Membership へと変更になった年度の末とする。

- 本人が Full Membership への復帰を希望していること
- Associate Membership 期間の通算 GPA（入学からの通算 GPA ではない）について、学年内席次が原則上位 2/3 以内であること